



## 発刊に当たって 県保育幼児教育センター長（県こども未来課長） 千綿 美紀

乳幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う大切なものです。

このため佐賀県では、幼児教育・保育の質の向上を図ることを目的として「保育幼児教育センター」を設置し、今年度で4年目を迎えます。

センターではアドバイザーによる訪問支援、現場の皆様のニーズに応じた様々な研修会の実施などに積極的に取り組んでいます。併せて幼児教育の成果を小学校以降の教育に切れ目なく繋げていくために、県教育委員会と連携し、幼保小接続に関する取組も推進しています。

この度、皆様方のご実践の一助になればと心より願い、保育の質向上を図る乳幼児教育、幼保小接続などに関する好事例などを幅広く情報発信していきたいと考え、「佐賀県保育幼児教育センターだより」を発刊する運びとなりました。ご活用いただければ幸いです。



## 「活動をどうする？」でなく「どう育てる？」に 【大館市（秋田県）の幼保小架け橋プログラムの紹介】

「これまでも連携してきたのに、あと何をやるの?」「アプローチ、スタートカリキュラムではだめなの?」架け橋期カリキュラムを作成するにあたっての現場からの本音。

そこで、大館市は、ビジョンを示し、リーダーシップを発揮し、カリキュラム開発会議の設置などの体制作りをし、子どもの育ちに対しての国、県、市町の本気度を伝えました。

そして、校種をこえて、共に子どもを語る、共に学び合うことで、「未来大館市民」を育成する目的を共有しました。架け橋カリキュラム作成などを通して、「小学校区のチームワークが深まったこと」「小学校1年担任の子どもの見方、授業や指導方法の改善がみられた」「5歳児担任の意図的な環境構成、状況に応じたかかわり方、精選された言葉かけ」などが大きな成果として挙げられました。

### ④ R5 全小学校区のカリキュラム作成合同会議での作業

「10の姿」だけではなく、  
「共通の視点」で、重点化した協議が期待されます



各小学校区で課題意識の共有が、カリキュラム作成の原動力に。

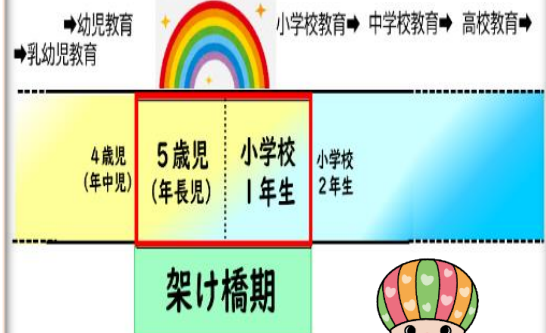


市共通版・モデル地区からセレクト

6月19日にアバンセで開かれた「幼児教育から学校教育への円滑な接続に向けた研修会」での大館市教育委員会からの資料より

### 架け橋期とは?

幼児教育施設の年長（5歳児）の4月から  
小学校1年生の3月までの2年間を指します。



さがっぴい 佐賀県子育て応援キャラクター

# ひざを交えて語り合おう！

## 「架け橋期のカリキュラム」の活用を！

「架け橋期のカリキュラム」のイメージ(佐賀県モデル)

〇〇校区 架け橋期のカリキュラムシート(案)

〇〇市の目指す教育	園	
過程		
教育・保育の目標・方針	想定されるメンバー：学校長・施設長等の管理職	
ステップ1 校区で重点的に育みたい力 目指す子供の姿 保育者や教師の援助・指導	★幼保小連携担当(幼保小接続コーディネーター)	
ステップ2 環境づくり・環境構成 家庭へ	想定されるメンバー：架け橋期の担任、学年主任、幼保小担当	
地域へ		
具体的な計画	5歳児(無自覚な学び・遊びを通して学ぶ時期) 4・5・6・7・8・9・10・11・12・1・2・3	1年生(自覚的な学び・教科を通して学ぶ時期) 4・5・6・7・8・9・10・11・12・1・2・3
ステップ3		



幼稚園、保育所、認定こども園等の就学前施設と小学校の連携の一環として、子どもたちの交流活動や情報交換会などが熱心に取り組まれるようになって久しいものがあります。

架け橋期という大きな節目に、切れ目なく学びをつなげていくため、まず教育目標、校区の子どもの実態や課題等について共有し、「育みたい力」「架け橋期に目指す子どもの姿」等を明らかにすることが大切になってきます。

架け橋期のカリキュラムを活用して、幼保小の先生方が、ひざを交えて語り合うことから始めませんか？当センターとしても、幼保小の連携・接続、相互理解が進むよう支援していきます。

各園の保育の質向上に向けた取組を支援しています！

### 「保育幼児教育センター」の主な取組

- ◆ 公開保育参観等での「保育幼児教育アドバイザー」訪問支援
- ◆ 保育者のキャリアに応じた様々な研修の実施
- ◆ 幼保小接続の取組の支援

### どうして今、幼保小接続なの？



乳幼児期に培った資質・能力は、生涯にわたり重要なもの。それを小学校で更に伸ばしていくことが必要なんだ。



とりわけ、2年間の「架け橋期」では、幼保小が協働してこどもの発達や学びをつなぐことで、生涯にわたる学びや生活の基盤をつくるのが重要なんだよ。



だから「架け橋期」って大切なんだね！



幼保小では、架け橋期の円滑な接続をより一層意識して教育内容や指導方法を工夫することが重要になってくるよ。

架け橋期を充実させることは、確かな学力、豊かな心、たくましい体の育成に大きく貢献し、そして、生涯にわたるウェルビーイングにつながるよ。